

奥さまの介護負担を減らしたい！ 車椅子から立位動作が可能になるまで

できることを増やしたい

米軍の駐屯基地で働き、その後溶接などの仕事をされていたT・S様は、活発な青年期を過ごされ、お子様、お孫様にも恵まれて笑顔が絶えない家庭を築かれていました。

その後、脳梗塞、心筋梗塞を発症されたT・S様は笑顔も減り、奥様中心の介護が始まりました。そして、奥様の献身的な介護を受け、ご本人の意欲も変化がみられるようになり、奥様の介護・介助による負担を軽減しひとり出来ることをひとつでも増やしたいと思うようになってきました。

中でも促通手技を開始した3日目に、足の反応が高まり、前に出やすくなるという驚異的な回復が見られました。その1か月後、「玄関の段差を介助なしで足を上げることができた」と、奥様と揃って喜びの声を聞かせていただくことができました。いまでは、歩けるような気がしてきたと自ら口にするようになり、デイサービスでの歩行練習に

前向きな気持ちで取り組まれ、階段昇降の練習を理学療法士さんに依頼しました。



大阪営業所
下田所長

マッサージやリハビリで体幹機能の向上を促し身体能力改善

今回のケースは、安定した立位、歩行に繋げていく為の体幹を主体としたリハビリに取り組み、身体能力が向上した事例です。マッサージ、関節運動法、促通法などのリハビリを重視した施術で体幹の機能向上を促し、早期改善につながった経緯に焦点をあてました。



麻痺側の右肩甲帯促通法



関節の運動法



立位動作及び立位保持練習

- 【初期目標】
- ・四肢の拘縮改善
- 【中期目標】
- ・介助なしでの立位動作及び立位保持
- 【長期目標】
- ・体幹の緊張と柔軟性の獲得
- ・下肢の筋力向上と協調性運動の改善

【施術内容】

- ・左右の足関節の背屈角度改善の為。訪問毎に検査を行い、問題箇所を重視したマッサージ、関節運動法、促通運動法。
- ・麻痺側の右肩甲帯の促通法
- ・筋力トレーニング(回数を重ねることに種目や回数を増加)
- ・呼吸を利用しての骨盤の前後運動。



腕が上がるようになり、着替えが楽に。



よく眠れるようになった。

ご利用者情報

ご利用者 T・S様(84歳 男性)
 傷病名①脳梗塞後遺症(平成15年)
 ②心筋梗塞(平成18年)

現在の施術は安定した立位、歩行に繋げていく為の体幹を主体としております。今後は、体幹の施術で起る代償運動を減らしていきながら、柔らかい体幹と固い体幹の獲得を目指していきます。仰臥位レベルでの膝伸展位を保った立位や、総合的な下肢筋力の向上、健

側の自由度を

高めることを、

これからの課題として、取り組み始めてまいります。



伊藤施術師

ご利用者の声

- ・良く眠られるようになりました。
- ・腕が上がりやすくなり、着替えがしやすくなりました。
- ・端座位の保持が楽になってきました。
- ・促通反復療法を開始してから、足が出やすくなりました。
- ・玄関の段差は、デイの送迎スタッフに足を上げてもらっていましたが、今は介助なしで足を上げることが出来ます。

ご家族の声

- ・着替えやポータブルトイレ、ベッド、三和土から室内などの移動がスムーズになり、介助が軽減されました。
- ・着替えをさせやすくなりました。